

日本雑草学会第55回大会プログラム

1. 会期：平成28年3月28日（月）評議員会，若手の会

3月29日（火）一般講演・ポスター発表，特別講演，ランチョンセミナー，
総会，学会賞受賞者講演，懇親会

3月30日（水）一般講演・ポスター発表，ランチョンセミナー，ミニシンポ

2. 会場：

評議員会

東京農業大学 グリーンアカデミーホール3階大会議室

(〒156-0054 東京都世田谷区桜丘3-9-31 電話:03-3425-2427)

若手の会，一般講演・ポスター発表，ミニシンポ，特別講演，総会等，懇親会

東京農業大学 世田谷キャンパス 1号館，横井講堂，カフェテリアグリーン

(〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 電話 03-5477-2207(代表))

3. 日程：

3月28日（月）

13：00～17：00 評議員会 グリーンアカデミーホール

16：00～18：30 若手の会 勉強会 224教室

テーマ 「ゲノム情報を用いた表現型予測」

(詳細は http://wssj.jp/conference/55th/55th_wakate.pdf 参照)

3月29日（火）

9：30～10：45 一般講演 A会場(141教室)，B会場(142教室)，C会場(131教室)

11：00～12：10 特別講演 S会場(横井講堂)

テーマ 「極東アジアにおける雑草学の新たな展開を求めて：雑草・作物複合の多様性解析」

講演者：Longjiang Fan (Zhejiang University, China)

演題：The *Echinochloa* genomes reveal molecular mechanisms for their interaction with paddy rice

講演者：Yoshiko Shimono (Kyoto University, Japan)

演題：Genetic structure of *Lolium* species produced by human-mediated introduction in international seaport areas

座長：松嶋賢一（東京農業大学）

12：10～13：10 ランチョンセミナー（農薬工業会） B会場(142教室)

司会と農薬工業会活動説明：小川 安則（農薬工業会）

演者：清水 力（クミアイ化学工業（株））

演題：食料生産の重要性と農薬の役割

12：10～13：10 各種委員会 222～225教室

13 : 10～14 : 10 ポスター発表 (奇数番) ポスター会場 (422～426 教室)

14 : 25～15 : 50 総会 S 会場(横井講堂)

15 : 50～16 : 10 学会賞授賞式 S 会場(横井講堂)

業績賞 受賞者 : 山口裕文 (東京農業大学 農学部)

業績名 : 東アジアにおける栽培植物の近縁雑草に関する生物学的研究

技術賞 受賞者 : 三浦恒子 (秋田県農業試験場)

業績名 : 水稲湛水直播栽培における初期施用除草剤利用技術の開発

論文賞

雑草研究 受賞者 : 大段秀記・住吉正・小荒井晃

論文名 : 九州北部のムギ圃における除草剤抵抗性スズメノテッポウの発生実態と各種除草剤に対する反応

WBM 受賞者 : Hiroshi Hayakawa, Maiko Akasaka, Yoshiko Shimono,

Shunji Kurokawa, Tomoko Nishida, Hiroaki Ikeda and Toru Wakamatsu

論文名 : Phylogeography based on the nuclear ribosomal DNA internal transcribed spacer region of native *Miscanthus sinensis* (Poaceae) populations in Japan

16 : 15～17 : 15 受賞者講演 S 会場(横井講堂)

業績賞 講演者 : 山口裕文 座長 : 保田謙太郎

技術賞 講演者 : 三浦恒子 座長 : 中山壮一

17 : 30～19 : 30 懇親会 百周年記念講堂 1 階 カフェテリア・グリーン

3月30日(水)

9 : 30～10 : 30 ポスター発表 (偶数番) ポスター会場 (422～426 教室)

10 : 45～12 : 15 一般講演 B 会場(142 教室), C 会場(131 教室)

ミニシンポジウム 1 A 会場(141 教室)

12 : 15～13 : 15 ランチョンセミナー (ワイリー・ジャパン, 英文誌編集委員会) 213 教室

演者 : 小林浩幸 (中央農研・英文誌編集幹事)

演題 : 日本雑草学会英文誌 Weed Biology and Management で論文を発表するには

12 : 15～13 : 15 各種委員会 222～225 教室

13 : 15～14 : 30 一般講演 A 会場(141 教室), C 会場(131 教室)

ミニシンポジウム 2 B 会場(142 教室)

14 : 30～16 : 00 一般講演 A 会場(141 教室), B 会場(142 教室)

ミニシンポジウム 3 C 会場(131 教室)

4. ランチョンセミナー(会費外・無料)および昼食について

29日のランチョンセミナー(農薬工業会)参加希望者には、当日朝受付で弁当券を配布します(先着100名)。30日のランチョンセミナー(ワイリー・ジャパン, 英文誌編集委員会)は事前登録制ですが、定員に満たない場合は弁当券を配布します(先着50名)。両日とも、大学の食堂、生協購買部が利用できます。大学周辺にも飲食店が多くあります。

第55回大会プログラム（概要版）

3月29日(火)	時間	A会場 (141教室)	B会場 (142教室)	C会場 (131教室)	S会場 (横井講堂)	ポスター会場 (422～426教室)	
	8:30～	受付					
	9:30～	一般講演 5題	一般講演 5題	一般講演 5題	閉場	ポスター掲示	
	10:45～	休憩(15分)					
	11:00～	閉場			特別講演	ポスター公開	
	12:10～	昼休み(1時間) ランチョンセミナー/各種委員会					
	13:10～	閉場				コアタイム(奇数番)	
	14:10～	休憩(15分)					
	14:25～	閉場			総会	ポスター公開	
	15:50～ 17:15 終了	閉場			学会賞授賞式 受賞者講演		

3月30日(水)	時間	A会場 (141教室)	B会場 (142教室)	C会場 (131教室)	S会場 (横井講堂)	ポスター会場 (422～426教室)	
	8:30～	受付					
	9:30～	閉場				コアタイム(偶数番)	
	10:30～	休憩(15分)					
	10:45～	ミニシンポ1 生活史調節を分子 レベルで理解する	一般講演 6題	一般講演 6題	閉場	ポスター公開	
	12:15～	昼休み(1時間) ランチョンセミナー/各種委員会					
	13:15～	一般講演 5題	ミニシンポ2 雑草における雑種 形成をめぐる諸課題 その4	一般講演 5題			
	14:30～ 16:00 終了	一般講演 5題	一般講演 5題	ミニシンポ3 APG分類体系－ DNA情報に基づく新 しい分類体系の理 解－		ポスター撤去	

* A～C会場は1号館1階、ポスター会場は4階。S会場は、アカデミアセンター地階。

○大会に関する問合せ先

大会運営委員長 山口裕文（東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科）

大会幹事 宮浦理恵（東京農業大学 国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科）

E-mail: conf2016@wssj.jp 電話：03-5477-2720, Fax：03-5477-2669

ミニシンポジウム・一般講演プログラム(詳細版)

※著者が連名である場合には発表者に○を付しています。

※講演番号の下に*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象(若手による発表)です。

3月29日(火)					
8:30	1号館1階 受付				
	A会場 (141教室)	座長	B会場 (142教室)	座長	C会場 (131教室)
9:30	1 * グリホサート・グルホシネート複合抵抗性ネズミギの出現 ○倉田康平1・下野嘉子1・市原実2・石田義樹3・富永達1(京都大学農学部1・静岡県農林技術研究所2・静岡県西部農林事務所3)	岩上哲史(筑波大学)	16 * 採取地の異なるタイヌビエ(<i>Echinochloa oryzicola</i> Vasing.)の水田中干し期間中の生育と結実 ○三浦恒子・進藤勇人・薄井雄太(秋田農試)・森田弘彦(秋田県立大)	水口垂樹(福井県立大)	32 * マルバールコウ防除で重要となるタイズの被陰開始時期に関連する形質の探索 ○黒川俊二(中央農研)・加賀秋人(生物研)・津田麻衣(筑波大)・関根大輔(生物研)
9:45	2 * ナギナタガヤのACCase阻害型除草剤耐性に関する研究 ○神 義伸・藤野 美海・定由直(住友化学(株)健康・農業研)		17 * 青森県における秋季のヒメドリコソウ <i>Lamium purpureum</i> L. の出芽、初期生長及び開花 ○川口佳則・木村佳子(青森県産業技術センターりんご研究所)		33 * ダイズ栽培中の短期湛水による帰化アサガオ類とアレチウリの防除条件—気温・湛水深・生育ステージによる影響— ○澁谷知子・黒川俊二(農研機構中央農研)
10:00	3 * 秋田県におけるALS阻害剤抵抗性オモダカの発生実態 ○薄井雄太(秋田農試(現仙北地域振興局))・三浦恒子(秋田農試)・内野彰(中央農研)		18 * カロライナツクサの種子発芽動態 ○松尾光弘・酒井泰良(宮崎大農)・長谷川航(大分北部振興局)・河野礼紀(大分農林水産研指)		34 * 東海地方の作物栽培圃場でのオオオナモミの発生消長 徐錫元(協友アグリ)
10:15	4 * シロイヌナズナTIR1/AFBオーキシン受容体変異株を用いたキンクロラクのオーキシン受容体への認識特性の検討 ○河野裕之・春原由香里・岩上哲史(筑波大)・林謙一郎(岡山理科大)・松本宏(筑波大)	杉浦健司(サイバイエンス)クロップ	19 * 攪乱(刈り取り)頻度の違いがチガヤ種内のクローン構成とチガヤ・シバ・ススキの優占順位に及ぼす影響 ○東建介・吉岡俊人・水口垂樹(福井県立大学)	(秋田県立大)	35 * 植生強調指数(ExG)を利用した作物と雑草群落の分類 ○渡邊修・大橋一允(信大農)・青木政晴(長野県農試)
10:30	5 * 市販の水稲用除草剤を用いた発根法によるSU抵抗性雑草の簡易検定 ○濱村謙史朗・阿部秀俊(植調研究所)・岩上哲史(筑波大学)・内野彰(中央農研)		20 * RNA-Seq解析を利用した日本に分布するチガヤの遺伝的分化の解明 ○野村康之・水野信之・下野嘉子(京都大農)・佐藤和広(岡山大資源植物研)・富永達(京都大農)		36 * 畦畔草地および輪作麦ほ場におけるエンドファイト感染/非感染ネズミギの動態モデル ○浅井元朗(農研機構)・澤田均・山下雅幸(静岡大)・Valentina Dwi Suci Handayani(岐阜連大)・市原実(静岡農技研)
10:45	休憩(15分)				
11:00	S会場 (横井講堂) 特別講演				
12:10	昼休み(1時間)/ A会場 ランチオンセミナー1(農業工業会)/ 2階 各種委員会				
13:10	4階422~426教室 ポスター発表コアタイム(奇数番)				
14:25	S会場 (横井講堂) 総会				
15:50	S会場 (横井講堂) 学会賞授賞式 受賞者講演				
17:15	1日目終了				
17:30	17号館1階 カフェテリアグリーン 懇親会				

3月30日(水)					
8:30	1号館1階 受付				
9:30	4階422~426教室 ポスター発表コアタイム(偶数番)				
10:30	休憩・移動				
	A会場 (141教室)	B会場 (142教室)	座長	C会場 (131教室)	座長
10:45		21 水田雑草Najas属が分布する水田の特徴に関する考察 ○嶺田拓也(農研機構・農工研)	小荒井晃(九州沖縄農研)	37 山梨県の大豆作園場における難防除雑草の発生消長とベンタノン液剤の防除効果 ○石井利幸・上野直也(山梨総農セ)	佐々木琢磨(協友アグリ)
11:00		22 潜在分布域推定におけるpseudo-absenceデータ作成 * ○大東健太郎(農環研)・水口亜樹(福井県立大学)・芝池博幸(農環研)		38 北部九州の大豆作における主要雑草防除のための除草剤一発処理技術の試み * ○半田浩二(公益財団法人 日本植物調節剤研究協会 事務局)・古賀巧樹・山口晃・大隈光善(公益財団法人 日本植物調節剤研究協会 福岡試験地)	
11:15	ミニシンポジウム1 生活史調節を分子レベルで理解する オーガナイザー:今泉智通(中央農研)	23 移植水田圃場におけるイヌビエの発生消長 -イヌビエは本当にタラダラ発生するのか?- ○小笠原勝・飯塚美帆(宇都宮大学雑草と里山教育研究センター)・奈良有至・有田一好・竹内崇(北興化学工業(株))		39 フルチアセトメチル薬害による北海道ダイズの収量および収量構成要素の反応 ○辻博之・村上則幸・中村卓司(農研機構 北海道農業研究センター)	
11:30	講演1:今泉智通(中央農研) 「埋土種子における休眠サイクル調節の分子機構」 講演2:工藤 洋(京都大学) 「植物の分子フェノロジー:遺伝子発現からみた季節応答の頑健性」	24 絶滅危惧I B類水田畦雑草アゼオトリの生態と保全のための増殖方法 ○吉岡俊人・中山祥平・青山のぞみ(福井県大生物資源)		40 フルチアセトメチル乳剤の燐化サガオ類への防除効果および長野県の主要大豆品種の生育への影響 ○青木政晴・原田良太・酒井長雄・土屋学・細野哲(長野農試)	
11:45		25 オオキンケイギク駆除技術の検討(5) * ○飯田拓生・笹川大輔(鳥取大学大学院農学研究科)・武内慎太郎(国土交通省岡山山河川事務所)・西原英治(鳥取大学農学部)	渡邊修(信州大)	41 マルバアメリカアサガオに対する高濃度グリホサート液塗布処理の効果 ○大隈光善・古賀巧樹・半田浩二・山口晃(日本植物調節剤研究協会 福岡試験地)	
12:00		26 二次林におけるアズマネザサの刈り取りがヤブランとジャノヒゲの開花、結実に及ぼす影響 * ○寺岡陸実(藤沢市)・中島宏昭・亀山慶夏・鈴木貢次郎(東農大)		42 1ha大区画水田におけるジャンボ剤の本田に入らない畦畔からの投げ込み除草 ~大型水田での新たな省力技術~ ○徐錫元(協友アグリ)・千葉文(全農岩手県本部)・高橋仁久・松本直剛・松田繁・西原良一・濱谷雅司・富田享博・池田芳治・安藤 敏(協友アグリ)	
12:15	昼休み(1時間)/ 2階215教室 ランチセミナー2(ワイリー ジャパン, 英文誌編集委員会)/ 2階 各種委員会				
	A会場 (141教室)	B会場 (142教室)	座長	C会場 (131教室)	座長
13:15	6 トウモロコシ用除草剤トラメゾン液剤の難防除外来雑草に対する効果 ○山田茂雄・高橋明裕・大森康弘(日本曹達株式会社)	ミニシンポジウム2 雑草における雑種形成をめぐる諸課題 その4 オーガナイザー: 富永達(京都大農) 講演: 樋口裕美子・下野嘉子(京都大農) 「外来雑草ドクミ属の分布拡大 -砂浜への侵入を例に-」	藤井義晴(農工大)	43 Determination of allelopathic potentiality of <i>Paspalum commersonii</i> * ○Farhana Zaman and Hisashi Kato-Noguchi (Faculty of Agriculture, Kagawa University)	
13:30	7 新規とうもろこし用除草剤トルピラートフロアブルに関する研究(第1報) * ○菅沼丈人・佐竹良和・岡本啓之・菊川弘司・三谷滋(石原産業株式会社)			44 Allelopathic activity of leaf and stem extracts of <i>Caesalpinia mimosoides</i> * ○Boonmee Sutjaritpan, Hisashi Kato-Noguchi (Faculty of Agriculture, Kagawa University)	
13:45	8 新規水稲用除草剤トリアフェモンに関する研究(第2報) - トリアフェモンおよびテフリルトリオン混合剤の作用特性 - ○杉浦健司・山岡達也・佐瀬政明・白倉伸一・赤藤武一郎(バイエル クロップサイエンス(株))			45 Isolation and Identification of allelopathic substances from <i>Marsilea orenata</i> * ○Md. Shafiqul Islam, Arihiro Iwasaki, Kiyotake Suenaga, Hisashi Kato-Noguchi (Faculty of Agriculture, Kagawa University)	
14:00	9 新規水稲除草剤トリアフェモンに関する研究(第3報) - トリアフェモン混合剤のコウキヤガラに対する効果 - ○山岡達也・砂川崇・岡林利奈・杉浦健司・佐瀬政明(バイエル クロップサイエンス(株))			46 キウイフルーツ葉のアレロパシー候補物質の単離・同定 * ○岡田峻・片岡郁雄・加藤尚(香川大農)	
14:15	10 マラカイトグリーンを用いたイネ科植物におけるACCase活性の迅速アッセイ法の確立 * ○神 義伸(住友化学(株)健康・農業研)			47 Allelopathic Activity of <i>Heliotropium indicum</i> extract * ○Chaiporn Sirinapa, Hisashi Kato-Noguchi (Faculty of Agriculture, Kagawa University)	
	A会場 (141教室)	B会場 (142教室)	座長	C会場 (131教室)	座長
14:30	11 水稲有機栽培における異常還元発生の予測方法とその対応技術の効果 * ○三木孝昭・大久保慎二・阿部大介・若石真嗣・加藤茂(自然農法センター)	27 熱帯産果樹モリンガの他感作用と作用物質の検索 - サンドイッチ法とプロトプラスト法による評価 - ○藤井義晴・米戸花織(農工大農)・野澤弘司(ブラジル野澤農園)・和佐野直也(農工大農)・笹本浜子(横浜国立大)	森本正則(近畿大)	ミニシンポジウム3 APG分類体系 - DNA情報に基づく新しい分類体系の理解 - オーガナイザー: 渡邊修(信州大)・早川宗志(農環研)・吉岡俊人(福井県大) 講演1: 米倉浩司(東北大学植物園) 「APG分類体系とY-List」 講演2: 早川宗志(農環研) 「Y-Listの活用 - 雑種オギスキを例に」	
14:45	12 島根県の水稲有機栽培圃場における秋耕起がクログワイの発生に及ぼす影響 ○安達康弘・月森弘(島根県農業技術センター)	28 アレロパシー活性の強い被覆植物を利用した庭園における雑草抑制 - 2年目の結果 - ○藤井義晴・奥村 恒・中村リリ・前田浩子(農工大農)			
15:00	13 異なる温度条件下におけるスズメノカタビラの節を含む断片からの個体発生 * ○岡崎麻衣子・小笠原勝(宇都宮大学雑草と里山の科学教育研究センター)	29 くずのつるの巻きつきを防止する植物由来の生理活性物質の探索と利用 ○藤井義晴・田村尚幸・唐内里緒・和佐野直也(農工大)・吉田昌裕(徳島文理大)・新藤充(九州大)・安藤隆寛・津田その子(中部電力)			
15:15	14 焼成焼却灰とセダム類を組み合わせた雑草防除法の検討 * ○藤岡伸吾・秋和満・平野稜典・成瀬和子・稲垣栄洋(静岡大農)	30 シロイヌナズナの植物由来 α, β 不飽和カルボニル化合物に対する遺伝子応答 ○和佐野直也・藤井義晴(東京農工大農)	堀元栄枝(京都工芸)		
15:30	15 一発処理剤散布水田に残草したノビエとホタルイカの発生深度 徐 錫元(協友アグリ)	31 ギンギン類を摂食する昆虫コガタリハムシの孵化、成育および羽化に及ぼす温度の影響 ○露崎浩・後藤大季・小野未来・阿部誠(秋田県立大)			
15:45					
16:00	2日目終了				

ポスター発表 演題・発表者(説明者)一覧

※ 発表者(説明者)が連名である場合は発表者に○を付しています。

※ ポスター番号の下に*が付された発表は、ベストポスター賞の選考対象(若手による発表)です。

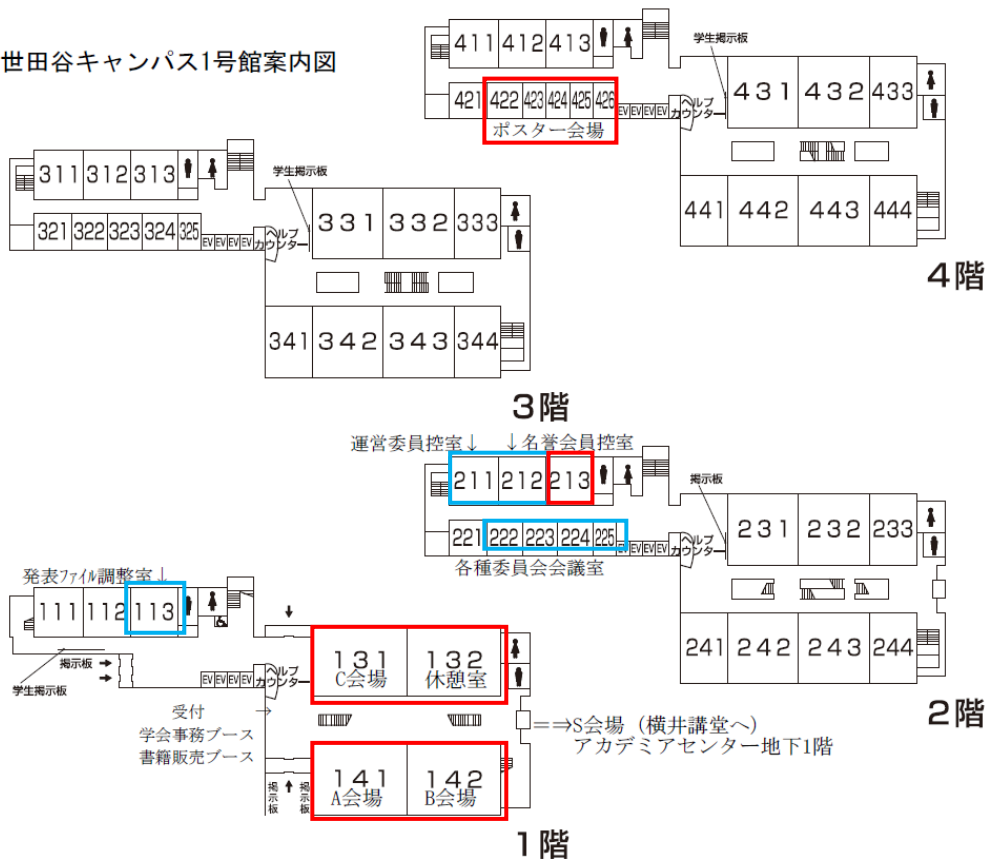
奇数番号コアタイム3月29日(火) 13:10~14:10		偶数番号コアタイム3月30日(水) 9:30~10:30	
P1 *	水田雑草ヒルムシロとササバモの間の雑種アイコヒルムシロ(ヒルムシロ科)の進化生物学 ○早川宗志・徳岡良則(農環研)・福岡豪(愛媛植物研究会)	P2 *	静岡県中部地域における水田型スズメノテッポウの変異 ○秋和満・成瀬和子・稲垣栄洋(静岡大農)
P3 *	輸入港における空き地・路肩間の地上植生および埋土種子の比較 ○西健志・下野嘉子・富永達(京都大農)	P4	世界各地のオヒシバのAFLP解析と熱帯高地の倍数体変異 ○宮浦理恵・須藤光咲・服部陽介・バビル パチャキル・亀山慶晃・山口裕文(東京農大)
P5	二級河川における人為的攪乱が沈水雑草ササバモ群落の消失に与える環境要因について ○中嶋佳貴・沖陽子(岡山大・環境生命科学研究所)	P6 *	茨城県牛久市における水田雑草ウスゲチョウジタデの生態と形態に関する予備的調査 ○飯田華代・森田弘彦・金久保秀輝(植調研究所)
P7 *	踏みつけ処理および除草剤処理がシロツメクサの生育と奇形葉の発生に及ぼす影響 ○石関真衣・徳田有美・成瀬和子・稲垣栄洋(静岡大農)	P8 *	水田雑草オモダカの種子発芽特性 ○尾崎由布子・下野嘉子・富永達(京都大農)
P9 *	水田多年生雑草ウリカワの繁殖特性 ○堀優美子・下野嘉子・富永達(京都大農)	P10 *	帰化アサガオ類が繁茂するダイズ圃場畦畔の植生と埋土種子量 ○井原希・小林浩幸(中央農研)
P11 *	定着頻度の異なる外来種の種特性の比較:イネ科スズメノチャヒキ属5種における実生の土壌水分への応答 ○川又栄美・下野嘉子・富永達(京都大農)	P12 *	温度および明暗処理がセイバンモロコシの発芽休眠特性に及ぼす影響 ○山田晋・根本正之(東京大農)
P13	ビロードモウズイカの繁殖および発芽特性 渡邊修・○山崎由利加(信大農)	P14 *	畑地に生息する大型アキノエノコログサの生態・形態特性の解明 ○細谷真奈実・渡邊修(信州大)・山下純(岡山大)・黒川俊二(中央農研)
P15	ニシキアオイの生育に及ぼす気温と発生時期の影響 ○澁谷知子・黒川俊二(農研機構中央農研)	P16	海岸のモザイク状環境におけるエノコログサの形態と耐塩性の変異~鳴門岬の例 ○伊藤松雄 1・中嶋佳貴 2・沖陽子 2 (1 四国学院大・社、2 岡山大・環境生命科学研究所)
P17 *	ラベンダー属(<i>Lavandula</i>)植物の遺伝的多様性と香り成分 ○今井達也・和田文緒・山口裕文(東農大)	P18 *	上高地・槍穂地域に侵入したオオバコの変異と遺伝解析 ○藤巻慎司・渡邊修・松島憲一・朴永俊・渋谷美月(信州大農)
P19	Allelopathic Potential of Root Exudates and Leaf Leachates from Rice Cultivars on the Growth of Lettuce (<i>Lactuca sativa</i>) ○Pharith Hay ^{1,3} , Kaworu Ebana ² , Sopheareth Mao ³ , Yosei Oikawa ¹ , Yoshiharu Fujii ¹ (1 Tokyo University of Agriculture and Technology; 2 National Institute of Agrobiological Sciences; 3 Department of Agro-Industry, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Cambodia)	P20	Research on caffeine as a putative allelochemical from tea (<i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze) ○Pham Thi Thanh Van, Maryia Mishyna, and Yoshiharu Fujii (Tokyo University of Agriculture and Technology)
P21 *	Interspecific differences in aqueous extracts from alfalfa (<i>Medicago sativa</i> L.) to the initial growth of some weed species. ○Rasooli, S., S.Nakanishi and M.Matsuo (University of Miyazaki)	P22 *	イヌビエの葉茎抽出物のアレロパシー活性 ○田中花奈・加藤尚(香川大農)
P23	Evaluation of Allelopathic Potentials of Some Common Edible Mushrooms in Japan ○Asma Osivand ¹ , Hossein Mardani ¹ , Majid Azizi ² , Hiroshi Araya ³ , Yoshiharu Fujii ¹ (1 Tokyo University of Agriculture and Technology, 2 Ferdowsi University of Mashhad, 3 Meiji University)	P24	Plant Growth Inhibitory Activity of Some Proteinogenic Amino Acids ○Asma Osivand ¹ , Hossein Mardani ¹ , Hiroshi Araya ² , Yoshiharu Fujii ¹ (1 Tokyo University of Agriculture and Technology, 2 Meiji University)

奇数番号コアタイム3月29日(火) 13:10~14:10		偶数番号コアタイム3月30日(水) 9:30~10:30	
P25	Evidences of allelopathic activity of root exudates of Saffron (<i>Crocus sativus</i>) ○Hossein Mmardani, Asma Osivand, Yoshiharu Fujii (Tokyo University of Agriculture and Technology)	P26	Grain of Paradise (<i>Aframomum melegueta</i>): A Potential Allelopathic medicinal herb ○Kwame Sarpong Appiah ^{1,2} , Hossein Mardani ¹ , Christiana Adukwei Amoatey ² , Siaw Onwona-Agyemang ² , Yoshiharu Fujii ¹ (1 Tokyo University of Agriculture and Technology, 2 University of Ghana)
P27	水稲有機栽培水田への米ぬか施用がコナギの生育に及ぼす影響 - 土壌極表層の水中沈定容積と土壌溶液の電気伝導度(EC)を用いた解析 - ○野副卓人・内野 彰・三浦重典(中央農研)	P28	春の七草にみる雑草の活用 ○山口裕文・上園風希子・松嶋賢一・御手洗洋蔵(東京農大農)
P29	Exploring farmers' indigenous knowledge on potential plants as indicators of soil health and fertility improvement in Ghana ○Richard Ansong Omari, Yosei Oikawa, Yoshiharu Fujii(Tokyo University of Agriculture and Technology)	P30	ドローンの高解像度空撮画像を用いた大豆圃場におけるアレチウリ群落の検出 ○渡邊修・関野旺彦(信大農)
P31*	有機栽培圃場における自走式蒸気処理防除機の効果2 ○大久保慎二・千嶋英明・加藤茂・岩石真嗣(自然農法国際研究開発センター)・浅井元朗(農研機構東北農業研究センター)	P32	有機農法での雑草抑制への試み 4. 秋田式水田ロボット除草機(実用機)の除草効果と農家実証試験 ○保田謙太郎・高階史章・金田吉弘(秋田県立大学)・今井淳容(秋田テクノデザイン)
P33*	有機無農薬米作の継続が水田雑草のバイオマスへ及ぼす影響 ○齊藤優也・山田晋・小林和彦・大黒俊哉(東京大学農学生命科学)	P34*	熱帯サバナ稲作を想定したイネ科雑草に対する土壌処理除草剤の剤型と土壌水分の影響 ○薄井晶子(秋田県立大院)・小川敦史・曾根千晴(秋田県立大)・森田弘彦(日植調研究所)
P35	無コーティング代かき同時播種水稲直播栽培における除草剤の薬害と水管理の関係 ○川名義明・白土宏之(農研機構・東北農業研究センター)	P36	ダイズ栽培で問題となる外来雑草の早期警戒システム ○黒川俊二・中谷敬子・澁谷知子(中央農研)・渡邊寛明・浅井元朗(東北農研)・今泉智通・小林浩幸(中央農研)
P37	カロライナツユクサに対する土壌処理剤および茎葉処理剤の除草効果 ○松尾光弘(宮崎大農)・酒井泰良(宮崎大農)・河野礼紀(大分農林水産研指)	P38	オオムギ表層散播栽培での土壌処理剤の薬害と雑草抑制効果 ○大段秀記・土屋史紀・住吉正・小荒井晃(農研機構九州沖縄農業研究センター)
P39*	カラヤマグワ (<i>Morus alba</i>) のチップマルチが数種の作物の収量に及ぼす影響 ○福田和明・中元朋実・堀元栄枝(京都工芸繊維大学)	P40	サツマイモ栽培におけるマリーゴールドの抑草効果(予報) 堀元栄枝(京都工芸繊維大学)
P41*	秋型ソバ品種の春播き栽培による耕作放棄地の雑草抑制 ○徳田有美・石関真衣・西川浩二・稲垣栄洋(静岡大農)	P42*	電子レンジによる雑草埋土種子の死滅効果の検討 ○松嶋賢一・大川奈津己・御手洗洋蔵・山口裕文(東京農大農)
P43*	ヒノキチオール処理によるイネ根部でのH ₂ O ₂ 蓄積への抗酸化酵素活性の関与 ○伊藤瑞紀・春原由香里・岩上哲史(筑波大)・藤井義晴(農工大)・松本宏(筑波大)	P44*	オクチルアセテートによる根部生育抑制作用における活性酸素発生の関与 ○西村彰紘・春原由香里・松山 茂・岩上哲史・松本 宏(筑波大学)
P45*	バイオタイプ異なるスルホニルウレア系除草剤抵抗性オモダカの各種除草剤成分に対する反応 松田晃(山形農研セ水田試)・岩上哲史(筑波大)・内野彰(中央農研)	P46*	静岡県中遠地域の水田周辺部におけるグルホシネート抵抗性ネズミギの発生実態 ○市原 実・宮田祐二(静岡農林技研)・石田義樹(静岡県西部農林事務所)・小池清裕(静岡県庁茶業農産課)・山下雅幸・澤田 均(静岡大・農)
P47*	多剤抵抗性タイヌビエにおける複数のACCase阻害剤に対する反応 ○上館巧嵩・岩上哲史・春原由香里・松本宏(筑波大学)	P48*	グリホサート抵抗性ネズミギのグリホサート抵抗性機構 ○倉田康平・新實由貴・宮下正弘・下野嘉子・富永達(京都大農)
P49	Efficacy of Herbicide Applied for Sorghum cultivated in Minor Crop O.J.B.Hwang, T.S.Park, H.K.Park, H.S.Kim, I.B.Choi, B.I.Koo, H.S.Bae, K.H.Lee(National Institute of Crop Science, RDA)	P50	水稲用除草剤ベンゾピシクロンに関する研究(9)ベンゾピシクロンスラリーの開発と普及 ○能城こずえ・澁谷剛・関野景介・小柳弘・山崎明彦・橋本年男・金安洋典・山田祐司((株)エス・ディー・エス バイオテック)
P51	インダノファン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン混合剤を用いた水田難防除雑草の防除 ○村井政彦・宮本恭輔・熊田秀治(日本農薬株式会社)		

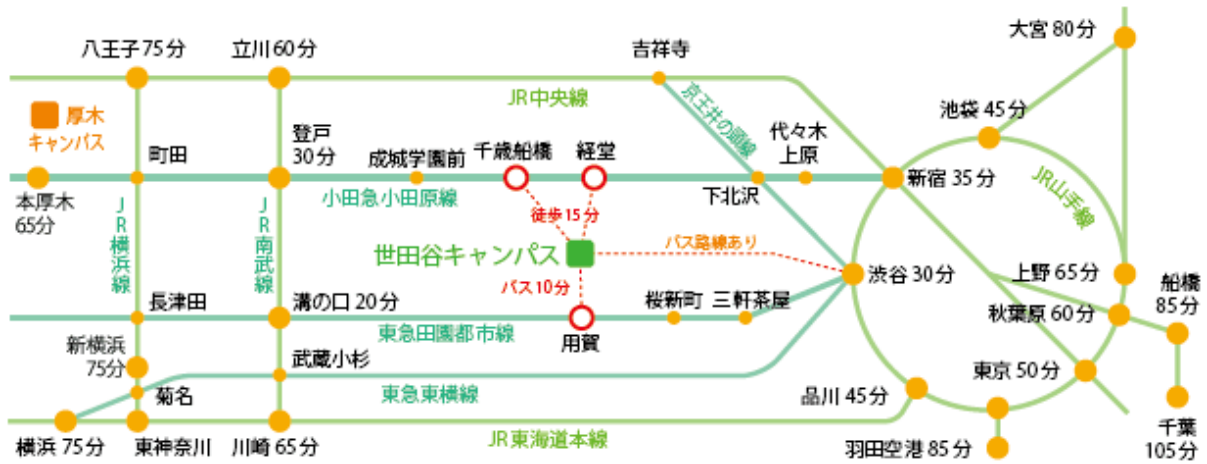
会場案内図



世田谷キャンパス1号館案内図



会場への交通経路



◇ 小田急線

◆ 経堂駅下車

徒歩 約 15 分

◆ 千歳船橋駅下車

徒歩 約 15 分

バス 約 5 分 <千歳船橋駅～農大前>

東急バス 渋谷駅行… (渋 23) 等々力操車所行… (等 11) 用賀駅行… (用 01)

◇ JR 山の手線

◆ 渋谷駅下車(渋谷駅西口)

バス 約 30 分 <渋谷駅～農大前>

小田急バス 成城学園前駅西口行…………… (渋 24) 調布駅南口行…………… (渋 26)

東急バス 成城学園前駅西口行…………… (渋 24) 祖師ヶ谷大蔵駅行… (渋 23)

◇ 東急田園都市線

◆ 用賀駅下車

徒歩 約 20 分

バス 約 10 分 <用賀～農大前>

東急バス 世田谷区民会館行…………… (園 02) 祖師ヶ谷大蔵駅行…………… (用 01)

◇ 東急東横線

◆ 田園調布駅下車

バス 約 30 分 <田園調布駅～農大前>

東急バス 世田谷区民会館行…………… (園 02)

日本雑草学会第55回大会運営委員会名簿

委員長 山口裕文 (東京農業大学農学部)
幹事 宮浦理恵 (東京農業大学国際食料情報学部)
委員 石井利幸 (山梨県総合農業技術センター栽培部)
宇川和博 (バイエルクロップサイエンス(株))
奥野潤一 (植調協会研究所)
金安洋典 (株)エス・ディー・エス バイオテック)
亀山慶晃 (東京農業大学地域環境科学部)
笹川泰輝 (アリストライフサイエンス(株))
佐々木琢磨 (協友アグリ(株))
杉山 稔 (シンジェンタジャパン(株))
鈴木貢次郎 (東京農業大学地域環境科学部)
田島 淳 (東京農業大学地域環境科学部)
濱村謙史朗 (植調協会研究所)
藤井義晴 (東京農工大学大学院農学研究院)
松嶋賢一 (東京農業大学農学部)
水野純一 (BASF ジャパン(株))
山下 修 (シンジェンタジャパン(株))

(五十音順)